

採点基準 外国語/英語

配点表			
大問	小問等	小問得点	大問得点
I	1	6	30
	2	2×4	
	3	10	
	4	3×2	
II	1	7	35
	2	10	
	3	3×4	
	4	3×2	
III	1	5	30
	2	4	
	3	4	
	4	3×4	
	5	5	
IV	1	15	30
	2	15	

大問 I 問 1 下線部説明 (6点満点)

〈問題部分〉

下線部(1)の内容を 35 字以内の日本語で説明しなさい。ただし、句読点も 1 字に数えます。

〈解答例 1〉

感謝を言葉で伝えることは予想されるほど普通ではないという研究結果。(33 字)

〈解答例 2〉

親切にされてお礼を言うのは決して当たり前のことではないという話。(32 字)

【下線部(1)】

① This news shouldn't be taken as evidence of the decline of a smoothly functioning social order.

(①この話をうまく機能している社会秩序が衰退している証左と受け取るべきではない。)

【該当箇所】 ※点線部は関連箇所。①、②...の番号は下表の項目との対応を表す。

It seems natural ① to thank someone when they pass the salt or hold the elevator for you, but ③ it turns out ① such behavior is ② pretty unusual. ③ A new study has shown that ① verbal expressions of gratitude like "thank you" are ② less common than you might expect. Are we ruder and more ungrateful than we realize? Not necessarily.

● 次の①～③の項目に相当する内容に得点を配分。

項目・配点	具体事例
①感謝を言葉で伝えることは (3点) verbal expressions of gratitude like "thank you" / to thank someone(=such behavior)	<ul style="list-style-type: none"> ・「『ありがとう』のような感謝を言葉で表現すること」に相当する内容であれば許容。 ・「言う」「言葉で表現する」「口にする」などverbalへの言及がない場合は-2点。 (例)「感謝する」は-2点 ・such behaviorを直訳し、「そのような行動」としたものは-3点。
②普通ではない(2点) pretty unusual/less common than you might expect	<ul style="list-style-type: none"> ・「普通ではない」に相当する内容であれば許容。 ・「普通である」「自然である」など真逆の言及がある場合は、趣旨そのものが大きく異なる解答として0点(-6点)とする。 ・pretty(かなり)やthan you might expect(予想よりも)への言及はあってもなくても不問。
③という研究結果(1点) A new study/it turns out	<ul style="list-style-type: none"> ・「という研究」「という話」「と判明した[している]」なども許容。 ・「～ということ」など、A new studyやit turns outへの言及がない場合は-1点。
<p>※趣旨そのものが違っているものは要素が含まれていても0点(-6点)。 ※その他、部分的な表現に難がある箇所は1箇所につき-1点。</p>	

大問 I 問3 下線部和訳（10点満点）

〈問題部分〉

下線(2)を日本語に訳しなさい。

〈解答例1〉

それが示しているのは、社会的な権利と義務の体系がお互いを助け合うようにできているので、それはほとんど気づかれないということである。

〈解答例2〉

言葉による感謝の欠如は、そのことがほとんど気に留められないほど社会的な権利と義務の体系がお互いに助け合うようにできていることを示している。

【下線部(2)】

② It shows that the system of social rights and duties is so geared toward helping each other that it's hardly noticed.

● 次の区分に分けて配点する。

区分	配点	具体事例
① It shows that ～ということをそれは示している／それが示しているのは～	2点	<ul style="list-style-type: none"> ・ It は「それ」と訳しても可。the lack of verbal thinking 「言葉による感謝の欠如」でもよいが、それ以外を取った場合は－2点。 ・ It の訳の欠落は－2点。
② the system of social rights and duties 社会的な権利と義務の体系 [システム]	2点	<ul style="list-style-type: none"> ・ system/social/rights/duties の誤訳はそれぞれ－2点。 ・ 「ソーシャル」は－1点。
③ so ~ that ... (とても) ~なので...／...なほど～だ	2点	<ul style="list-style-type: none"> ・ so が訳出されていなくても許容。
④ is geared toward helping each other お互いを助けるようにできている／お互いを助けることに向けたものである	2点	<ul style="list-style-type: none"> ・ is geared が訳出されていなくても、「互いを助けるためになる」という内容で訳されていれば許容。 ・ toward の訳出がなく、「互いを助けることだ」と helping 以下を動名詞で訳したものは－1点。
⑤ it's hardly noticed それはほとんど気づかれない／そのことはほとんど気に留められない	2点	<ul style="list-style-type: none"> ・ it の訳出については区分①と同様。ただし、it の訳の欠落は不問。 ・ hardly の誤訳により大きく意味が異なるものや、準否定ではなく肯定の意味となっているものは－2点。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 区分内で、構造に影響しない単語レベルの誤訳、訳漏れがある場合は適宜－1点。 		

大問Ⅱ 問1 下線部説明（7点満点）

〈問題部分〉

下線部(1)の内容を具体的に 35 字以内の日本語で説明しなさい。ただし、句読点も 1 字に数えます。

〈解答例〉

焦点を近くに合わせたり距離の違いで切り替えたりするのが困難な状態。（33 字）

【下線部(1)】

Staring too much at tiny details in the confined space of a small screen results in ①a condition known as presbyopia, a term derived from Greek words meaning “old eye.”

（小さな画面の限られた空間に収まったごく細かい画像を見つめすぎると、①老視として知られている症状になる。老視とは「老いた眼」という意味のギリシャ語に由来する用語である。）

【該当箇所】 ※点線部は関連箇所。①、②...の番号は下表の項目との対応を表す。

Eye clinics around Tokyo report an increase of young people suffering from ①such symptoms as difficulty ②focusing on nearby objects and ③switching focus on objects at different distances.

●次の①～③の項目に相当する内容に得点を配分。

項目・配点	具体事例
①～するのが困難な状態 [症状/兆候] (1点) such symptoms as difficulty	<ul style="list-style-type: none"> ・ such 「そのような」、as 「～のような、～として」と訳出されていても許容。 ・ symptom(=condition)、difficultyの欠落は－1点。
②焦点を近くに合わせたり (3点) focusing on nearby objects	<ul style="list-style-type: none"> ・ nearby objectsは「近くのもの/近く」に相当する内容であれば広く許容。 ・ objectを「反対」(objection)と誤って解釈したものは－1点。 ・ focusは「焦点を合わせる」「ピントを合わせる」の意味が取れていれば許容。 ・ focusを「集中する(させる)」「重点を置く」「専念する」などと誤って解釈したものは－1点。
③距離の違いで切り替えたり (3点) switching focus on objects at different distances	<ul style="list-style-type: none"> ・ focus/objectsについては項目②と同様。 ・ switchを「スイッチする」としたものは－1点。
<p>※趣旨そのものが違っているものは要素が含まれていても 0点(－7点)。 ※その他、部分的な表現に難がある箇所は1箇所につき－1点。 *文末は「状態」「症状」「兆候」などの他に、「～こと」のような体言止めも許容。</p>	

大問Ⅱ 問2 下線部和訳（10点満点）

〈問題部分〉

下線(2)を such symptoms の内容を明らかにした上で、日本語に訳しなさい。

〈解答例〉

スマートフォン [スマホ] を手にする若者が増え、その使用時間が伸びるにつれ、老視を始めとしてドライアイ、疲れ目、仮性近視 [一時的な近眼] といった目のトラブルが増加しそうである。

【下線部(2)】

② As more young people acquire smartphones, and use them for longer periods, such symptoms are likely to increase.

【such symptomsの該当箇所】 ※点線部は関連箇所。[A],[B]... は下表③との対応を表す。

It is too simplistic to say smartphones directly cause Apresbyopia. However, doctors and clinics have found that the onset of such symptoms, which generally used to be in the mid-40s, is now starting much earlier. Other reports have found that other eye troubles, such as Bdry eye, Cfatigue and Dpseudomyopia (temporary nearsightedness), have also increased.

● 次の区分に分けて配点する。

区分	配点	具体事例
① As more young people acquire smartphones スマートフォン [スマホ] を手にする若者が増え (るにつれて)	2点	<ul style="list-style-type: none"> As を理由の意味「～なので」で訳出したものは許容。「～同様に」、「～するように」といった誤訳は －1点。
② and use them for longer periods その使用時間が伸びる (につれて)	2点	<ul style="list-style-type: none"> for longer periods は「長い時間」の意味で訳出できていれば許容。 longer の比較級部分を訳出していなくても許容。 periods を「時代」と誤訳したものは －1点。 区分②が区分①と並列する副詞節であることを理解していない訳出は －2点。
③ such symptoms are likely to increase <u>A</u> 老視を始めとして <u>B</u> ドライアイ、 <u>C</u> 疲れ目、 <u>D</u> 仮性近視 [一時的な近眼]... といった目のトラブルが増加しそうである	6点	<ul style="list-style-type: none"> such symptoms に 4点、are likely to に 1点、increase に 1点を配する。 such symptoms は下記[A]～[D]に それぞれ1点を配する。 [A]を「老眼」、[B]を「乾いた眼」、[C]を「疲労」、[D]を「近眼」などと凡そ近い意味で訳出したものは許容。 such symptoms を「そのような症状」と直訳したものは －4点。 presbyopia/pseudomyopia を英語やカナで書いたものはそれぞれ －1点。
<ul style="list-style-type: none"> 区分内で、構造に影響しない単語レベルの誤訳、訳漏れがある場合は適宜 －1点。 		

大問Ⅲ 問1 下線部説明（5点満点）

〈問題部分〉

下線部(1)について sections が指す内容を明らかにした上で、日本語で具体的に説明しなさい。

〈解答例〉

ヴィクトリアはどの大問も戻って見直すことはしなかった，ということ。

【下線部(1)】

(1) She didn't go back over any of the sections.

● 次の①～③の項目に相当する内容に得点を配分。

項目・配点	具体事例
①ヴィクトリアは戻って見直さなかった（3点） She didn't go back over	<ul style="list-style-type: none"> ・ Sheは「ヴィクトリア」「彼女」、どちらも許容。 ・ go back overは「見直す」に相当する内容であれば許容。 ・ backを「後ろに／背後に」、overを「～の上で／～を越えて／終わって」などと明らかに誤って解釈し、「見直す」の意味を取れていないものは－3点。
②どの大問も（2点） any of the section	<ul style="list-style-type: none"> ・ anyを訳出していないもの、「いくつかの」などと誤訳したものは－1点。 ・ (the) sectionsは「問題」「出題」など「試験に出題された問題」を指した内容であれば許容。ただし、「分野」「部分」「部門」「区域」などの誤訳は－1点。「セクション」も－1点。
<p>※趣旨そのものが違っているものは要素が含まれていても0点（－5点）。</p> <p>※その他、部分的な表現に難がある箇所は1箇所につき－1点。</p>	

大問Ⅲ 問5 単語記述（5点）

〈問題部分〉

結局ローリーは、化学の試験で何問間違えたのか。ヴィクトリアの点数と間違いの数から推測し、数字で答えなさい。

〈解答〉

1（問）

●「一（問）」、「ひとつ」、「いち」、「イチ」なども許容。

大問Ⅳ 自由英作文（15点満点×2）

【(1)の解答例 1】

If your cola spills on the table, or you turn the pages of a book with chocolate-covered fingers, the books will get dirty. A lot of students must read the books in order to prepare for their exams or essays. Reading stained books will be unpleasant for other people. So, please refrain from bringing them inside. (54 words)

【(1)の解答例 2】

Heatstroke can be very serious. In order to prevent it, it is important to have the best environment to study in. However, the library is a public place, where many things are banned without consideration for personal comfort. Therefore, I strongly recommend that you go back home where you will feel more comfortable studying. (54 words)

【(2)の解答例 1】

I would choose the sign with the hand. It is easy to understand what the sign means because a picture of an open hand is often used to mean “stop” or “wait.” In addition, this sign looks more powerful than the one with a picture of a human walking. Therefore, I would use the sign with the hand. (58 words)

【(2)の解答例 2】

I would choose the sign with the human walking. It's a picture of a person walking, so the figure seems to be entering someplace. As a result, this sign politely gives people the idea that they should stop and not go further into the garden. For that reason, I think the sign with the human walking is more suitable for the garden. (62 words)

【採点の基準】

1. 語数・英語の正しさ

i. 語数

*著しく語数が不足している、或いは語数が超過している場合はその不足／超過の度合いに応じて適宜減点。

ii. 形式

*段落頭のインデントの有無は不問。

iii. 英語の正しさ

1) 英語として多少不自然でも、意図が伝わるように表現できていれば広く認めるが、基本語の明らかな誤りや、基本的な文法面の誤りは減点。

2) 軽微なスペルミスは**－1点**。

3) 冠詞・単複・動詞の語形の誤り、語句の誤りなどすべて1箇所につき**－1点**。

2. 内容面

(1) 「図書館への飲食の持ち込み」について

1. 全く無関係な事柄について書いているものは0点（－15点）。
2. 論点が「先生が生徒に飲食の持ち込みは許されないことを納得させる」という内容から大幅にずれているものは0点（－15点）。
3. 『理由（1つ以上）→結論』という基本的な流れで構成されていなければ減点。
4. 結論（「従って飲食の持ち込みは許されない」、「飲食が必要なら図書館以外で勉強しなさい」など）が述べられていない場合は－5点。
5. 結論を導くのに妥当な理由が一切述べられていない場合は0点（－15点）。
6. 「規則は規則だから」、「別に死ぬ訳ではない」、「君は常識外れな人間だ」など非論理的で客観性に欠ける理由は1つにつき－5点。
7. 受験者の個人的な経験を理由としている場合は－10点。

(2) 「立ち入り禁止の標識」について

1. 全く無関係な事柄について書いているものは0点（－15点）。
2. 論点が「自宅の庭に人が入らないようにするための標識を選ぶ」という内容から大幅にずれているものは0点（－15点）。
3. 『結論→理由（1つ以上）』という基本的な流れで構成されていなければ減点。
4. 結論（「私は右（左）の標識を選ぶ」）が述べられていない場合は0点（－15点）。
5. 結論が最初ではなく最後に述べられている場合は－5点。
6. イラストをどちらか選択していないもの（「どっちもよい」「どっちもよくない」など）は0点（－15点）。
7. 結論を導くのに妥当な理由が一切述べられていない（が結論は書かれている）場合は－10点。
8. 「カワイイから」、「手（人）のイラストが好きだから」など主観的、非論理的な理由は－5点。
9. 受験者の個人的な経験を理由としている場合は－10点。